

平成16年3月期 第3四半期業績の概況（連結）

平成16年2月6日

上場会社名 三菱瓦斯化学株式会社
 (URL <http://www.mgc.co.jp>)

(コード番号：4182 東証第1部、大証第1部、名証)

代表者 取締役社長 小高 英紀
 問合せ先責任者 役職名 広報 IR 部長 佐藤 康弘

(TEL : (03) - 3283 - 5041)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高、営業利益及び経常利益の会計処理の方法の
 最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

2. 平成16年3月期第3四半期業績の概況（平成15年4月1日～平成15年12月31日）

(1) 売上高、営業利益及び経常利益

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高	営業利益	経常利益	(参考) 持分法投資利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円
16年3月期第3四半期	253,462	7,724	12,071	7,465
15年3月期第3四半期				
(参考)15年3月期	312,119	1,907	2,901	5,697

(注) 売上高、営業利益及び経常利益は、当該四半期までの累計値であります。

パーセント表示は、前年同四半期比増減率を示すものですが、当第1四半期より四半期業績の開示を行っているため、前年同四半期実績及び増減率につきましては記載しておりません。

[売上高、営業利益及び経常利益に関する補足説明]

当第3四半期まで（平成15年4月1日～平成15年12月31日）の業績は、全般的に概ね順調に推移し、売上高2,534億6千万円、営業利益77億2千万円、経常利益120億7千万円となりました。

当第3四半期は、セグメント別には、ともに円高の進行による収益悪化要因があったものの、化学品ではキシレン系製品の需要は堅調に推移しました。また、メタノール市況が比較的高値で推移したことで持分法投資利益は順調に推移しましたが、メタノール系製品はコストアップ要因となり営業利益幅を縮小しました。工業薬品類は需要が弱含みで推移しました。

機能製品では電子材料製品は引続き需要回復により好調に推移し、エンジニアリングプラスチックも堅調に推移しました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事項はありません。

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

当期の業績予想は、概ね計画通りに推移しており、平成16年3月期中間決算発表時の業績予想を修正していません。

（参考）平成16年3月期業績予想（平成15年11月18日発表）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
通 期	百万円 332,000	百万円 13,500	百万円 9,000	円 銭 19 46

通期予想営業利益 10,000 百万円

上記の予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上